2022年4月

沖縄科学技術大学院大学
スタートアップ・アクセラレータープログラム

～OISTを核とした沖縄県におけるイノベーションエコシステムの実現～

© Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University 2020

OISTの特色

理念：①世界トップレベルの研究教育行う
②沖縄におけるイノベーション拠点の形成

研究：研究領域を超えた学際的な教育研究

・・・学部の壁を取り払った分野間の境界領域の研究を可能に

教育：個々の成長を促す教育プログラム

・・・学生対教員比率によるハンズオン教育の実現（学生対教員＝3:1）

予算：内閣府所管の特定私立学校法人

・・・独創的な研究に対するハイトラスト・ファンディング

産学連携：発明から事業化まで一元的に支援する体制

・・・国内外で産学連携・技術移転に従事した専門人材の配置

国際性：公用語は英語

・・・国籍と言語を超えた最先端科学の研究の実現

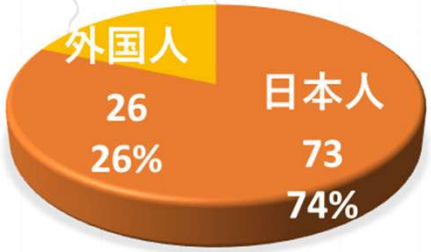
© Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University 2021

教員、学生、職員

教員
84

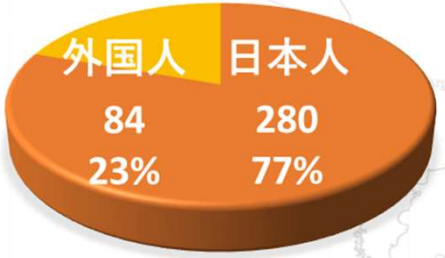
学生
255

研究支援スタッフ
99



研究ユニットスタッフ
479

事務スタッフ
364

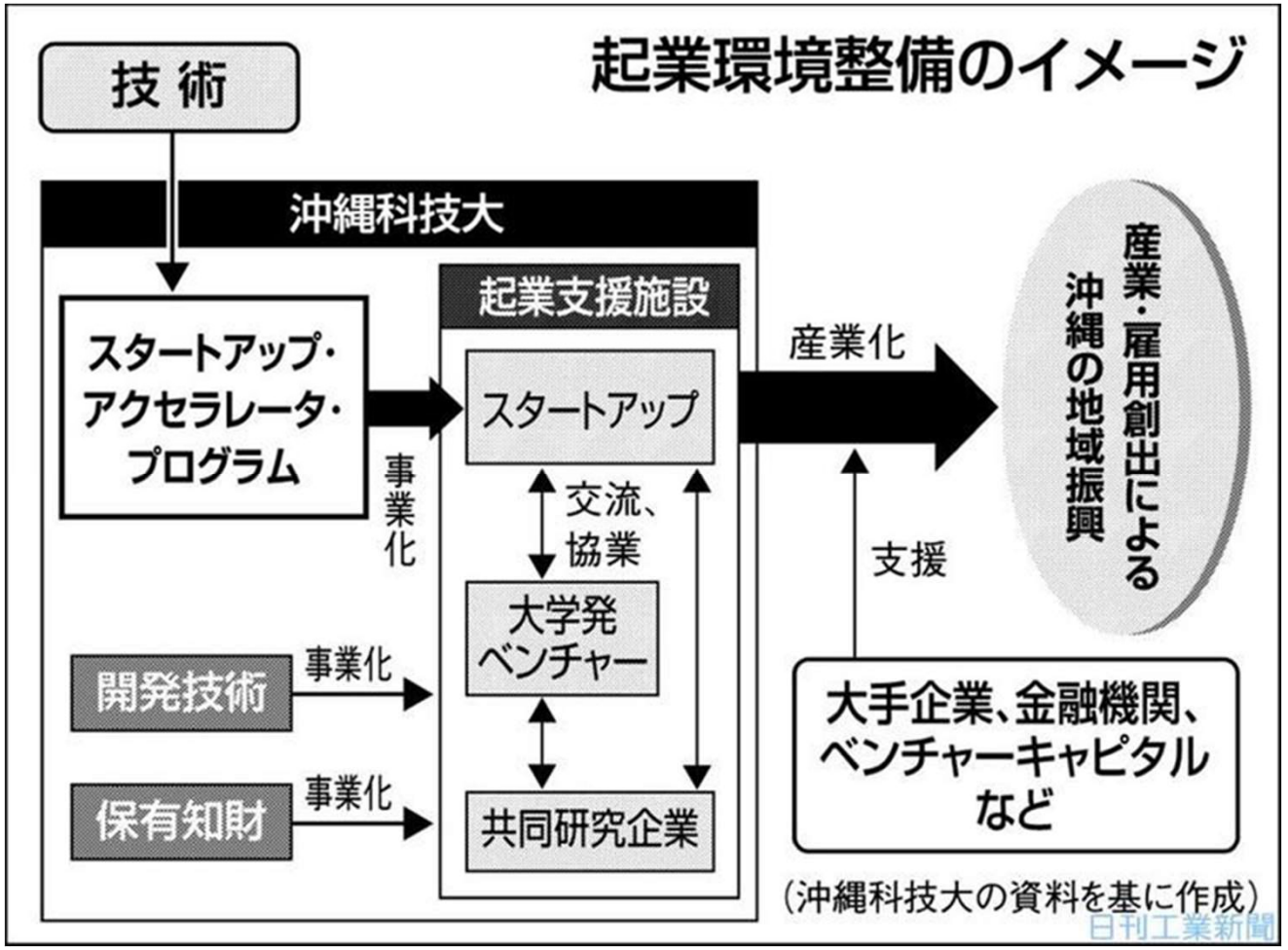


世界58か国から1,000人以上が集積

© Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University 2021

スタートアップ アクセラレーター プログラム

2018年度開始
沖縄県助成



© Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University 2021

スタートアップ アクセラレータープログラム

2018年度～2021年度
合計：7チーム
- 3社県内に会社設立
- 4チーム支援中

https://i2.oist.jp

REPS ジャパン　アメリカ
栄養補助食品のリエンジニアリング　2018年度

EFポリマー　インド
水不足の地域の農家を支援するための農業廃棄物を変換した超吸収性ポリマーの開発　2019年度

DEEP t*　ロシア
医療用非侵襲性マイクロ波放射測定器　2019年度

KANJU-BOT　ロシア
深層強化学習を活用してマシンの会話能力を向上　2020年度

SAGE SENTINEL　カナダ
脳の視覚野からヒントを得た機械学習を活用した高齢者の転倒検知予測システムの開発　2020年度

GENOME MINER ai　日本
ゲノム解析のための人工知能システム　2021年度

MENOPAUSE & BEYOND　日本
更年期を迎える女性の包括的なサポートシステム開発するフェムテック・スタートアップ　2021年度

© Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University 2021

ベンチャーキャピタルファンド

- **創成期のスタートアップ支援のために50億円のベンチャーファンドを提案**

- OISTのイノベーティブ・リサーチのニーズに対応する**長期資本**
- OIST発、またOISTのビジョンや関心分野を支える技術に関連する**創成期のスタートアップ**に投資
- 起業家らの沖縄から世界へ向けた革新技術の発信により**地域経済の発展**を促進

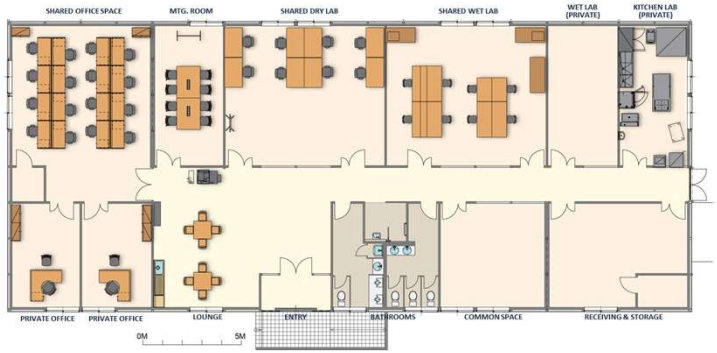
2022年度の組成を目指している。

© Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University 2021

インキュベーション施設

オープンコンセプトデザイン
入居日から事業開始ができるスタートアップ向け施設

- 面積：500m2
- 収容力：27社入居
- スペース：
  - 工作室と実験室を併設
  - 専用オフィス・コワーキングスペース
- 機器：先端共有機器配置
- サービス：コーディネーターによるハンズオン支援（日英）



https://i2.oist.jp/incubator

© Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University 2021

イノベーション・スクエア・インキュベーター

事業支援サービス

- 価値の具体化
- OISTコミュニティとの連携
- 事業計画／顧客開拓
- 事業化の専門家による助言
- 市場評価
- ピッチ／プレゼン機会
- 研究開発の資金調達支援
- 投資家への橋渡し

スタートアップフェーズ

アイデアフェーズ
実現可能なビジネスアイデアを検討

概念実証フェーズ
ビジネスコンセプトの実現可能性を検証

加速フェーズ
事業化への移行

成長フェーズ
チーム、製品、収益など事業の具体化

施設

イノベーションスクエア・インキュベーター1

- 500m2
- 共有スペースと専用スペースの割合は8：1
- 専用デスク：16席
- 専用オフィス：2室
- ラボベンチ：16台
- 専用ラボ：2室
- 共有研究機器

イノベーションスクエア・インキュベーター2 （仮）

- 2000m2
- 共有スペースと専有スペースの割合は2：1
- 専用デスク：20席
- 専用オフィス：10室
- ラボベンチ：20台
- 専用ラボ：10室
- 共有研究機器
- イベント／製品デモ／集会用スペース
- 健康・医療、エネルギー・環境に焦点

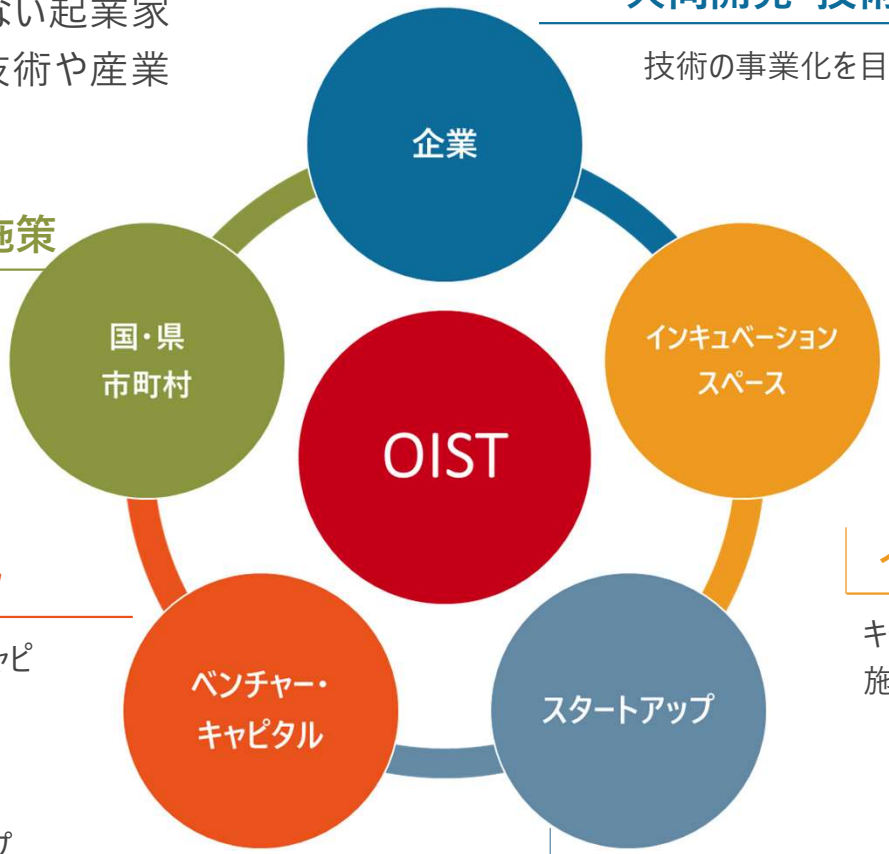
オフィススペース　メーカーズスペース　ラボスペース

© Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University 2020

科学を社会に還元する仕組み

OIST: 沖縄におけるイノベーション・ハブ

企業、投資家、そしてリスクを恐れない起業家がOISTを中核として集まり、新しい技術や産業をともに創出する。



共同開発・技術移転

技術の事業化を目指し、企業との共同研究、技術移転を推進

2020年度以降、技術開発における収入は15億円

規制緩和・施策

インセンティブプログラムや規制緩和措置などを通じて沖縄をより魅力的なイノベーションの場所として提唱するため内閣府や沖縄県と緊密に連携

資金調達リスク

OISTの技術シードへの投資のためベンチャーキャピタルと連携

- **5億円のOIST-BNVファンド**
- **50億円のOIST ベンチャーファンド**

目標は今後2～5年でアーリーステージのディープテック系スタートアップ50社

イノベーション・クラスター

キャンパス内にあるプレハブのインキュベーター施設には2年で27企業が入居*

* 新規スタートアップ企業への空きスペースはなし

新しい産業の原動力

OISTはこれまでスタートアップ企業40社を支援

© Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University 2020